

防災会からのお知らせ

地震発生！さあ、あなたはどうする？



グラツときた瞬間、できることは限られています。あなたなら
とっさに何をしますか？突然揺れはじめたらもう動けない。

でも、少しでもできることはないか、地震発生直後の心の準備を今は考えてみましょう。

地震が発生した!!

1. 机の下などにかくれ、わが身の安全を守る。

机の下にかくれるとき、手は机の足の天板に近い付け根部分を持つ。

なぜなら、床に近い部分を持つと、大きい揺れで机が動いた時に、手を床との間に挟んでしまってケガをするからです。



2. 火の始末をする。火を消す3度のチャンスがあります。

チャンス1：揺れを感じたとき

チャンス2：大揺れがおさまったとき

チャンス3：出火したとき

もし出火したとしても、1～2分の間までは、燃え広がってはいません。

手近にある消火器具で消せるはずです。

3. 脱出口を確保しあわてて外に飛び出さない。

とにかく、揺れの合間をみてドアや窓を開け、逃げ口をつくっておくこと。

4. 家族の「ようす」を把握する。

大人でさえも動揺する大地震。子どもたちやお年寄りへの指示をする。

5. 安全な場所へ避難する。

避難する前に、もう一度火の元の点検をする。ブレーカーも忘れずに落とす。避難先や安否情報を書いたメモを残す。安全な服を着る。頭や手足の保護も忘れずに。荷物は最小限にとどめる。原則として、歩いて避難する。車はだめ。お年寄りや子どもは手をしっかり握る。できるだけ指定された避難場所に避難する。（グリーンシティは氷丘南小学校等です）

6. 近所の方と連携する。

消火作業やけが人の確認等、お互いに声を掛け合いましょう。

いざというとき、あなたはどのような行動がとれるか頭の中でイメージトレーニングを！



今月も引き続き、「**グリーンシティあいさつ運動**」にご協力ください。

「加古川グリーンシティ防災会」表彰される！

グリーンシティ防災会が、平成14年度優良自主防災組織として1月25日に表彰（兵庫県知事表彰）されました。

これは、加古川市においては中津防災会に続く2番目の受賞でした。兵庫県下でも、マンション単位での自主防災組織はほとんど存在しない中で独創的な活動が評価されたのです。

「自分の命、自分の町は自分で守る」という防災の原点に立ち、今後も活発に実りある活動を行っていきますので、積極的なご参加・ご協力をお願いします。



（オープニングセレモニー）



（表彰を受ける大西防災会長）

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
ホームページアドレス <http://www.dri.ne.jp/>

